

令和8年度 ステップアップ（3歳児）絵本リスト ※この中から1冊お選びいただけます

番号	絵本名	作者名	出版社	内容
1	くれよんのくろくん 	なかや みわ：作・絵	童心社	くれよんのなかまたちは、次々と箱を飛び出して、真っ白な画用紙に絵を描き始めます。きいろくんはちょうちょを、あかさんとピンクちゃんは花を……。だけどくろくんだけは、きれいに描いた絵を黒くされてはたまらないと、なかまにいらしてもらえません。くろくんがさみしそうにしていると、シャープペンのお兄さんがやってきて……
2	パンどろぼう 	柴田 ケイコ：著	KADOKAWA	まちのパンやからサササッととびだすひとつの影。パンがパンをかついて逃げていきます。「おれはパンどろぼう。おいしいパンを探し求めるおどろぼうさ」 パンに包まれたその正体とは…!? お茶目で憎めないパンどろぼうが、今日も事件を巻き起こす!
3	どうぞのいす 	香山 美子：作 柿本 幸造	ひさかたチャイルド	うさぎさんは、野原の木の下に、「どうぞのいす」と書いた立て札と一緒に置いていきます。うさぎさんのひらめいた「いい考え」とは、どんなことだったのでしょうか。やがて、動物たちが通り過ぎるたびに、色々な出来事が起こるのです。
4	パパ、おつきさまとって 	エリック・カール：作 もり ひさし：訳	偕成社	娘に月をせがまれて、パパは長ーいはしごをたかーい山にたてかけ本当に月をつれてきた。カールならではの楽しいアイデア絵本。
5	ぴっばぴっばのふしぎなくに 	糟谷 奈美：絵・文	至光社	不思議な道具を使って身の回りの美しい色を集めようと、ぞろぞろぞろご出発。朝から晩まで、身の回りのあちらこちらに溢れるたくさん色を探して集める小さな妖精”ぴっばぴっば”。いっぱい集めた色を持ってレストランの秘密の階段を下り、小さな扉を開けると、そこにはいったい何があるのでしょうか?
6	14ひきのあさごはん 	いわむら かずお：作	童心社	もりの朝。はやおきいちばんはおじいさん。おかあさんがおきて、おばあさんがおきて、こどもたちもめをさます。おねぼうさんはだあれ?
7	わにわにのおでかけ 	小風 さち：文 山口 マオ：絵	福音館書店	残暑が残る夜、ワニのわにわにはなかなか寝付けません。すると、家のそとをぞろぞろと歩くたくさん足音がします。好奇心を抑えられないわにわには、窓からはい出て、人のあとについていきます。ずりずりづづづ、と足をひきずりながら。さて、わにわにはどこへ?
8	グリーンマントのピーマンマン 	さくらとこ：作 中村景児：絵	岩崎書店	子どもたちに嫌われ者のピーマンはシクシク、そこへバイキンが……。がんばれピーマンマン!
9	おおきなかぶ 	A.トルストイ：再話 内田莉沙子：訳 佐藤忠良：画	福音館書店	大きなかぶをみんなで力を合わせて抜くという単純な物語の中に、大らかさ、力強さ、ユーモアなどが満ちあふれ、ロシア民話の楽しさを味わわせてくれます。